

科目名	年度	レポート番号	クラス	学籍番号	名前
API 実習	2023	4	B	20122011	入倉嵩登

レポート(5)で開発する API を使ったシステムについて企画、要件定義を行ってください。ページ数や文字数よりも、読んでわかりやすく書けているかどうか、点数アップの分かれ目です。本レポートにおける要件定義項目は、本来の要件定義項目から抜粋した簡易な内容になっています。

種別（API 開発 + アプリ開発なのか、API 連携からのサービス開発なのか識別するため必須）

どちらかに○をつけること

☐ 独自 API 開発 / ☐ API 連携

業務要件

概要

新潟駅周辺にある焼肉屋を探すことのできるもの。その店舗の営業時間や場所（地図）、人気メニュー、価格帯などの情報を得ることができる。焼肉屋の情報を Google スプレッドシートに入力して、Sheet DB を使って API 化した。また、API のドキュメントを作成し、Github Pages で公開する。データを Glide に読み込んでアプリケーション化する。

背景

大学生になり、焼肉に行く頻度が高くなった。焼肉に行く時にインターネットで場所や料金などを調べてから足を運んでいた。チェーン店に行きたい時とそうでない時、焼肉を食べたい気分になったけど、手持ちのお金に余裕がなく、安価で済ませたい時、一人焼肉を楽しみたい時など様々なケースがあった。そこで、それらのニーズにあった焼肉屋を探せるものがあると嬉しいと感じたため開発することにした。

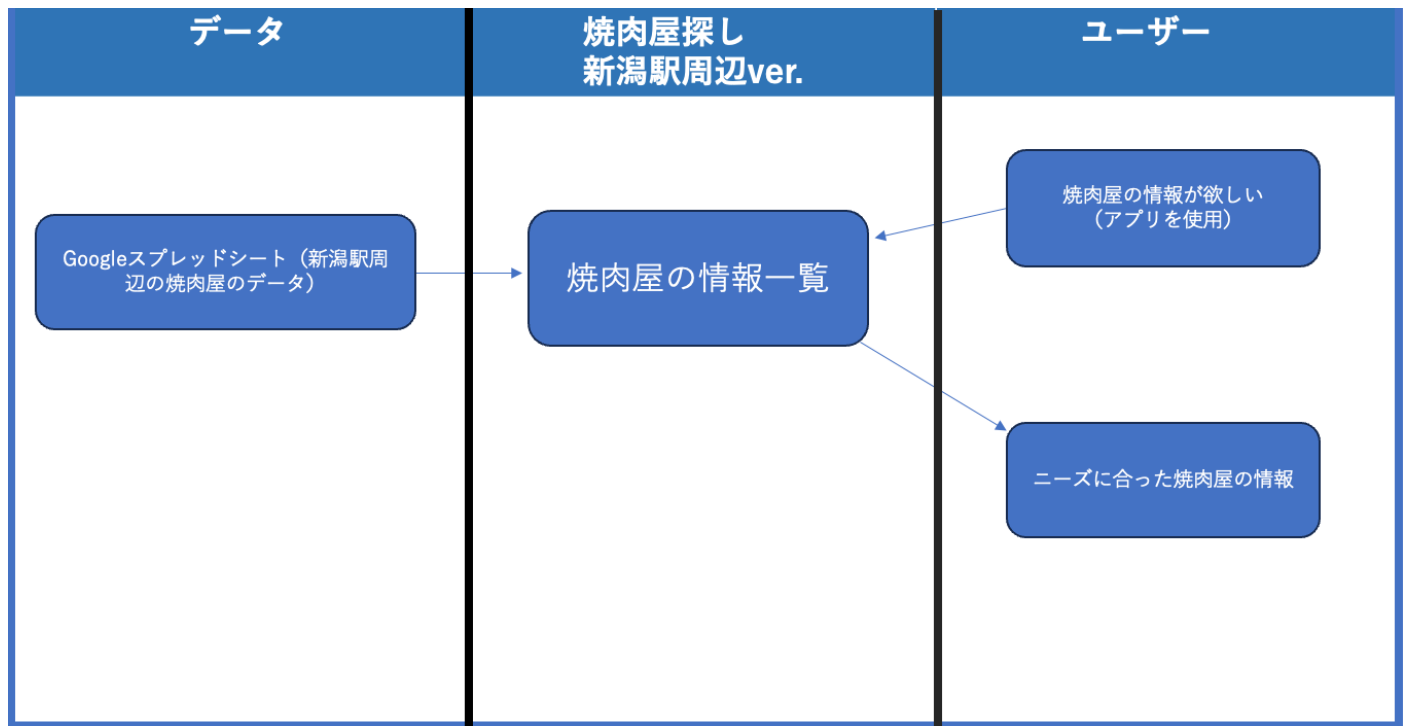
目的

私と同じように、焼肉屋に行く際に店舗の比較を行ってから判断したい人や、新潟市に初めて訪れる人などが簡単に焼肉屋を探すことができることを目的として開発する。

想定利用対象者

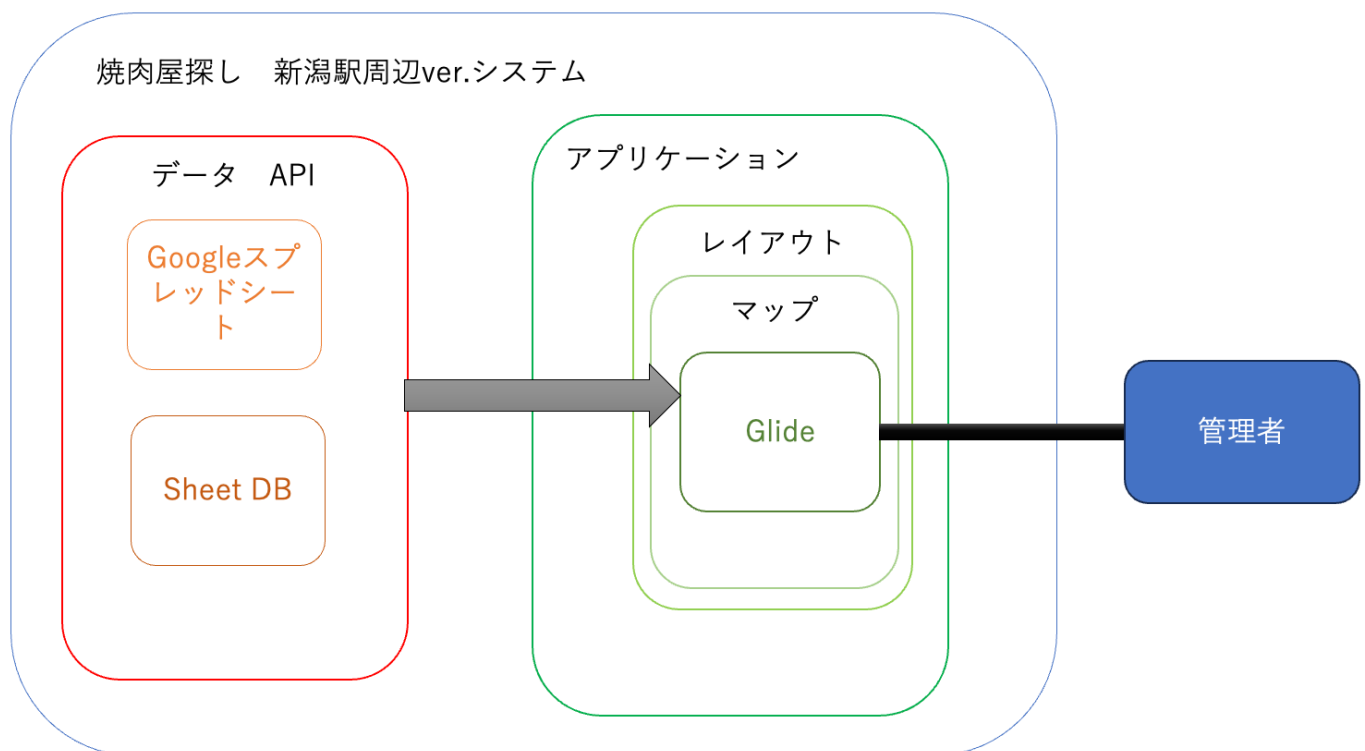
利用する・利用を想定している対象者としては以下のような人が挙げられる。焼肉屋を調べて比較し、価格の低い店舗に行きたい人。食べ放題が可能な店舗に行きたい人。新潟に初めて訪れて、自分の気に入っている店舗がどこにあるのか探したい人。など、焼肉屋を利用したい人全般に対して利用できるものである。

業務フロー



機能要件

システム構成図



使用外部サービス一覧

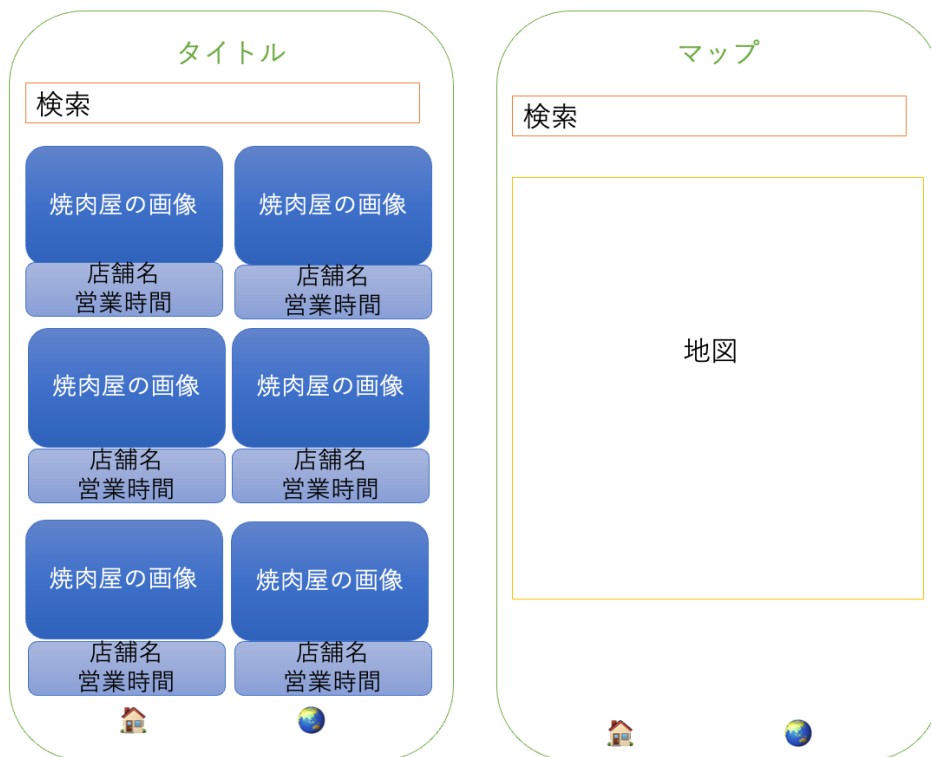
Google スプレッドシート	Sheet DB	Glide
Google が提供している表計算ツール。スプレッドシートの作成や表示形式の設定、他のユーザーとの共同作業も可能。	スプレッドシートを API 化するサービス。Google スプレッドシート内のデータを取得し、ウェブサイトに表示することなどが可能。	アプリの開発を行うことのできるノーコードツール。さまざまなレイアウトのテンプレートが存在し、簡単にアプリを開発することが可能。

想定画面

画面一覧

トップ画面（新潟駅周辺焼肉屋一覧）	マップ画面
<ul style="list-style-type: none">・検索・店舗の一覧（店舗の画像、店舗名、営業時間、価格帯）・マップ画面に移動するためのボタン	<ul style="list-style-type: none">・マップ（店舗の座標にピン）・検索・一覧画面に戻るボタン

画面レイアウト



データ定義（API 開発している場合は必須）

テーブル一覧

name	time	recommendation	image	price	coordinate
店舗名	営業時間	おすすめメニュー・コース	店舗の画像	価格帯（安価・普通・高額）	店舗の座標

非機能要件

拡張性

店舗に同時に受け入れられる人数でも絞り込むことのできるような機能の追加。店舗ごとのキャンペーン情報など、リアルタイムな情報を表示するような機能の追加。「家族で食事をするのに最適」や、「デートのお店に最適」など、利用するシーンを想定して表示する機能の追加。

稼働環境

システム側

利用者側(クライアント環境)

Google Chrome 121.0.6167.85(Official Build) (arm64)

- ・ Google Chrome を利用できる PC、スマートフォン、タブレット端末。

iPad,iphone,ipodtouch:iOS15 以降・Android8.0(Oreo)以降・Windows10 以降・ macOS Catalina10.15 以降・ 64 ビット Ubuntu18.04 以降・ Debian10 以降、openSUSE15.2 以降、Fedora Linux32 以降

保守

管理者 1 人がシステムの管理を行う。新たな店舗の開店や、既存店舗の閉店など、変化があった場合に修正・変更を行う。エラーやトラブルが発生した際には随時、対処を行う。また、再発防止策の検討。2 週間に一度、システムに問題がないかチェックを行う。